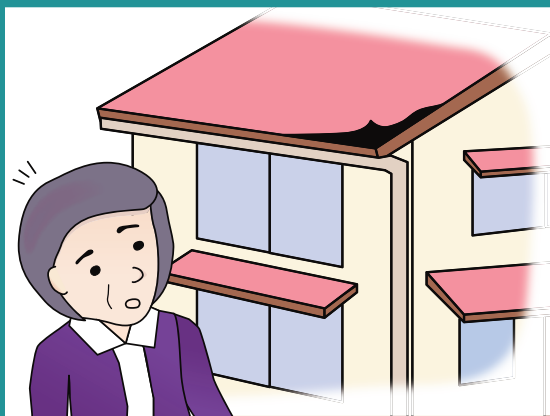


# 台風・豪雨被害！ 火災保険は使える？ 悪質勧誘被害も防ぐ修理相談ワザ



みなさんがいつ直面するかもしれない台風・豪雨被害の修理。どこにどう相談するればいいのか、火災保険は使えるのか、修理の進め方など気になると思います。そして悪徳業者の存在も気になりますよね。

## まず火災保険会社に相談

お家が災害で被害を受けてしまったとき、その修理を保険の適用で検討している場合は、まず契約している保険会社、または代理店に連絡を取り、申請を進めていきます。

### お家が台風や豪雨による被害を受けたときの流れ

1. まず契約している保険会社、または代理店に連絡を取りましょう。

保険会社からは、申請に必要な書類や写真、修理見積もりが求められます。

※地震による被害は地震保険の加入が必要となります。



2. 修理・リフォーム業社に状況を話し、申請書類準備の手助けを貰いましょう。

お客さま立ち会いの元で工事業者と被害状況を確認し、修理内容や工事期間等を決定し、見積もりを貰います。



3. 再び保険会社に連絡を取り、求められた書類等を提出します。

このとき、修理内容をご自身でもしっかりと把握し、**保険申請は契約者であるご自身で対応しましょう。**



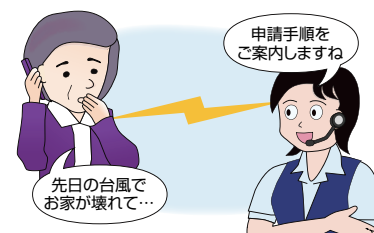
4. 保険金が支払われたら、工事に進みます。

ご予算により工事を追加したり減らしたりすることも可能です。工事会社に再度しっかりと相談しましょう。

※**保障適用範囲や支払額は契約している保険会社の判定規準で個別に決定**され、内容により保障適用外となる場合もあります。



5. お客さまご納得の元、修理の契約を進めて着工です。



### 火災保険適用外であった場合、もしくは自費で修理をする場合

お家の修理を保険の適用外や自費で検討している場合も、大方の予算を決めた上で、工事業者と施工範囲を決め、見積もり額や工事内容を確認して進めていきましょう。

1. 修理・リフォーム業社に状況・ご予算とともに相談しましょう。

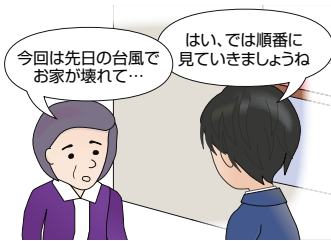
2. お客さま立ち会いの元で工事業者と被害状況を確認し、修理内容や工事期間等を決定し、見積もりを貰います。

このとき、修理内容をご自身でもしっかりと把握しましょう。

3. お客さまご納得の元、修理の契約を進めて着工です。

## 修理業者の選び方

### ① かかりつけ業者に相談



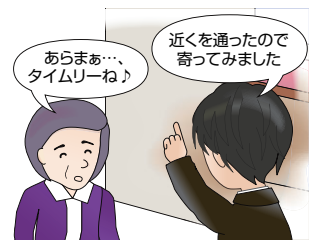
「かかりつけ」的な修理・リフォーム業者がある場合は、そちらに相談しましょう。あなたのお家のことを理解している業者なら安心です。

### ② かかりつけがない場合



かかりつけ業者がない場合は、ご近所情報やインターネットなどで探します。実店舗の有無や口コミ評価を参考にし、相見積もりを取りましょう。

### ③ 勧誘業者に頼む場合



被災直後は訪問や電話勧誘が増えます。不安をあまり契約・斡旋することや、工事は別業者に委託する「中抜き」も増えます。慌てず判断しましょう。

## 「保険が使える」の営業・契約斡旋にご注意

被災直後、傷みが見られるお家や応急処置をされたお家に、訪問や電話勧誘による家屋修理の営業が来ることがあります。このとき疑わしいセールストークのポイントを紹介します。それらを念頭に入れてご検討ください。

### ① その業者が自社で修理までを行う？

中間マージンを得るために契約書を交わすことを目的とした業者があります。利用者は工費だけでなく中間マージンも負担することになります。



また契約後、別の工事業社が追加で高額な修理費用を請求してくる可能性があります。

### ② 強引な契約や口契約・仮契約に注意

恐怖心をあおり、口契約で契約を済ませ、事を進めてしまう業者がいます。「**契約書は後日**」という場合、**契約書を持ってくる時期がクーリングオフ期間後**であることや、**契約者に不利益な内容が書かれている**こともあります。**口契約は大変危険**です。



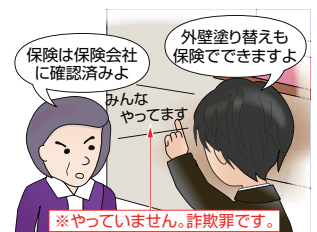
### ③ 「火災保険」「自己負担ゼロ」は甘い勧誘

「火災保険」という案内は、安心して修理の契約に進みたくになります。しかし火災保険はあなたと**保険会社との契約であり、勧誘業者や工事業者は「支払いの有無」や「支払い額」の判断はできません**。必ずご自身で保険会社に確認しましょう。



### ④ 詐欺に該当する虚偽申請の斡旋

残念ながら災害の保険に「経年変化にまつわる雨漏りや外壁の傷み」など元々あった不具合は適用されません。これらを被災箇所と同時に申請してしまうと、保険会社に虚偽の請求をしたこととなり詐欺に該当することになります。



※業者の言葉を鵜呑みにして工事契約をしてしまうと、保険金支払いの有無に関わらず工事業者に工事代金を支払う責務が生じます。保険支払いの可否や金額は必ずご自身で保険会社に確認してから修理の範囲や規模を決め、契約しましょう。

この内容を含む様々なお家の問題を取り上げた「トラブル解消特集」を当社のWebサイトで公開しています。ぜひご活用ください。

●お気軽にお問い合わせください



## 【保存版】お家の健康診断（マイチェックシート）

※太文字は放置すると家屋倒壊や火災につながる危険な項目です。屋根や天井裏などの高所点検は無理をせず、点検業者にお任せください。

診断箇所	確認したいこと	○△×	被害や今後の予測
外壁	隙間や浮き		家が傾き、強度不足となる恐れがある。
	ヒビや損傷		壁内部へ水が侵入し、腐食の恐れがある。
	汚れやカビなど		雨漏りの結果、壁内部が腐食している。
屋根	雨漏り		天井、壁内、室内の木材が腐食し、老朽化を早める。
	老朽化		雨漏りや家の強度不足につながる、災害に耐えられなくなる。
	雨どい(割れや外れ)		強風で飛ばされる、家屋に雨水が侵入する恐れがある。
基礎	軒裏の状況		傷みがあると雨漏りの恐れがある。
	基礎ヒビ・壊れ		家屋の傾きや倒壊の危険につながる。
ドア	通気口の点検		床下の通気が悪いと湿気で腐食やカビの原因となり、シロアリが発生する。
	建具のきしみ・がたつき・すきま		雨水や外気が侵入し、害虫被害などにもつながる。
窓	サッシの結露		断熱効果の低下が故であり、結露の水分で窓枠や床材の腐食が生じる。
	サッシのパッキンの老朽化		室内に雨水が浸入し、窓枠や床材に腐食が生じる。
玄関	網戸の破れ・がたつき		害虫の侵入を許してしまう。
	床板の具合		床下部のフカフカや損傷がある場合は腐食している恐れがある。
廊下	壁面や天井の汚れ・損傷		落とすきれない汚れはカビや菌の繁殖をもたらす。
	照明・スイッチの具合		点灯具合の悪化や旧型器具の場合は漏電などの危険がある。
階段	手すりのがたつき		ガタつきから手すりが外れると体が支えられず、転倒や転落の恐れがある。
	玄関タイルの状況		割れや目地の損傷は躓くことや転倒する恐れがある。
キッチン	壁面やタイル等の損傷		損傷部から壁内へ水が漏れ出し、周辺に腐食やカビをもたらす。
	壁面やタイル等の汚れ		落とすきれない汚れはカビや菌の繁殖をもたらす。
	キッチン収納の不具合		ゆるみやガタつきが進むと収納具が外れ落下し、怪我や損傷につながる。
	蛇口やハンドルの具合		ゆるみやガタつきから水漏れし、周辺に腐食やカビをもたらす。
	コンロまわりの具合		ガス栓のゆるみやガス配管の劣化は火災の危険がある。
トイレ	換気扇		異常動作は換気不足となり一酸化炭素中毒の恐れがある。
	壁面の損傷		外気が侵入し臭気が排出されず、居室内全体にも拡散する恐れがある
	壁面の汚れ		落とすきれない汚れはカビや菌の繁殖をもたらす。
	使用年数の確認		配管からの水漏れは床材を腐敗させる。電気系統の不具合は漏電の恐れがある。
	照明器具の点検		暗所の照度不足は器具交換を。人感センサー付き照明なら消し忘れも防げる。
お風呂	洗面所		臭気が排出されず、居室内全体にも拡散する恐れがある。
	床面の状況		落とすきれない汚れはカビや菌の繁殖をもたらす。
	壁面やタイル等の損傷		損傷部から壁内へ水が漏れ出し、周辺に腐食やカビをもたらす。
	壁面やタイル等の汚れ		落とすきれない汚れはカビや菌の繁殖をもたらす。
	換気扇		湿気が排出されず、居室内の湿気が多くなりカビや結露などの発生につながる。
	水栓器具の点検		水漏れなどはカビや腐食などをもたらす恐れがある。
各室内	洗面部		下部などへの水が漏れ、カビや腐食などをもたらす恐れがある。
	洗面部		下部などへの水が漏れ、カビや腐食などをもたらす恐れがある。
	照明器具の点検		暗所の照度不足は器具交換を。人感センサー付き照明なら消し忘れも防げる。
	洗濯機パンの水漏れ		床や基礎部などが腐食する恐れがある。
	床板の具合		床下部のフカフカや損傷がある場合は腐食している恐れがある。
天井	壁面や天井の汚れ・損傷		落とすきれない汚れはカビや菌の繁殖をもたらす。
	収納ドアなどの具合		ゆるみやガタつきが進むとドアが外れ落下し、怪我や損傷につながる。
	照明器具の点検		点灯具合の悪化や旧型器具の場合は漏電などの危険がある。
	電源コンセントの不足		たこ足配線は漏電の恐れがあるため、コンセント個所数を見直したい。
天井	電源コンセントの緩み・ガタつき		漏電やショートなどの恐れがある。
	雨漏りの点検		前回調査から10年を超えていたり、天井が染みていたりする場合は点検したい。
点検口	虫害・獣害の点検		異音や異常、天井に染みがある場合などは点検したい。
	ブレーカーが頻繁に落ちる		電気配線の見直しを図り、回避したい。
電気設備	大型家電を導入した		電気設備に大きな負荷がかかる場合があり、専用配線の設置を検討したい。
	バルコニー		腐食や劣化などがあると雨漏りにつながる恐れがある。
外構	防水の点検		腐食や劣化などがあると雨漏りにつながる恐れがある。
	テラスルーフなど		がたつきや腐食などがあると雨漏りにつながる恐れがある。
外構	フェンス・カーポート・物置など		がたつきや腐食などがあると雨漏りや倒壊の恐れがある。

●お家の気になること、ご相談ください



当店のWebサイトで様々なお家の「トラブル解消特集」を公開しています

☎ 0120-682-777 (9:00~20:00・土日祝も営業)

〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間2079-1

✉ info@saihome.jp 🌐 https://saihome.jp/

建設業許可番号 神奈川県知事許可(般-4)第83905号 / 一級建築士事務所 神奈川県知事登録第18399号



禁無断転載